

C O N T E N T S

【お知らせ】 年末に

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 【1】 職場を考える(77) | 【牽制の効果】 |
| 【2】 生き生き施設づくり(68) | 【新施設長】 |
| 【3】 信頼のある職場(77) | 【あいさつ】 |
| 【4】 少年硬式野球チームのコーチと目標管理(87) | 【上には上が】 |
| 【5】 連載コラム | 【褒められて育つ】 |

【お知らせ】

拙宅の窓から見える山の紅葉もぼつぼつ色があせてきました。いよいよ、冬も本番のようです。皆さまには、年末に向けてご多忙のことと存じます。ご無理なさらず、過剰にやる気を出さず、元気に年末を迎えていただくことを願って、今回のメルマガをお送りします。気分転換の時に読みいただければ、ありがたいです。

(中嶋)

【1】 職場を考える(77)

【 牽制の効果 】

前号で、自分のサボり心を押さえる方法として、目標を公開する意味を説明しました。今回は、職場における同僚の視線やちょっとした発言が、大きな牽制効果を持つことについて述べます。

人は、他の人の視線を意識しないと、ごまかしたり悪いことをしたりもので、牽制によって、組織のガバナンスを高めようとするわけですから。そのためにも、目標管理のプロセスを公開することが大事です。

職場目標の公開、個人目標の公開、面談の公開等々。MBO実践支援センターでは、役割ミーティング、職場評価ミーティングというかたちで、目標管理のプロセスを公開し、それを学習機会とすることをお勧めしています。このミーティングの主たる効果は学習にあります。同時に、職場メンバーの「発言機会の確保」や「陰口を言わない義務の訴求」の効果も期待されています。つまり、職務配分や、自分の評価についての発言機会が提供されているにもかかわらず、そこで発言せず、陰で不満を言うのはマズイと、牽制する効果も持っているわけです。

また、職場ミーティングでの発言は、同僚に評価されるという側面もあります。職場のためという姿勢が全く見られない発言をすれば、同僚から後ろ指を指されることもあるでしょう。職場に貢献できる意見を述べれば、同僚の賛意が得られ、賞賛されることもあるでしょう。つまり、同僚の目にさらされることによって、「職場のために考える」という姿勢を保つことへの牽制が行われているわけです。ガバナンス重視で、ルールで統制する動きが強まっている企業組織ですが、牽制というガバナンス技術を上手に使いたいところです。

中嶋

【2】 生き生き施設づくり(68)

【 新施設長 】

この4月から、2人の新しい施設長が内定しました。法人全体で特養ホームが3つですから、そのうちの2つの顔ぶれが変わる大きな異動になります。久しぶりの期待に満ちた施設長交代です。歓迎する理由はいくつかあります。まず今回の人事が、コロナ禍で起きたような前任者が突発退職してその穴埋めのた

めの緊急避難的な配置ではなく、満を持しての計画と意思のある配置だということです。

二つ目に、数年前に次の次の施設長候補の学びの場として法人内で年間通して行った仮称「あすなろ塾」の受講者に今回の2人が含まれていたことです。

三つ目は、この2人を上司の立場でフォローし育ててきた現任の施設長が、自身は現場から離れて今度は各施設を横断するテーマを担当できるようになったことで、法人全体のマネジメントに厚みが生じたことです。

期待通りに進むほど簡単でないにせよ、地味で時間はかかったけれども人材育成の取り組みが2人の施設長誕生という結果を出したことで、その重要性をあらためて関係者間でかみしめているところです。

パートナー・三宅敬司

【3】信頼のある職場(77)

【 あいさつ 】

目上の人に「ごくろうさまでした」は失礼にあたる。そういうときは「おつかれさまでした」と言いなさい…と教わった記憶がありますし、今でも新任社員研修でそう教えている会社は少なくないようです。辞書も「ごくろうさま」は目上の者が目下の者の苦労をいたわって言うときに使う、という風な説明をしています。

「おつかれさまです」

ミーティングなどで、始まりの声掛けにそう使われると、これから始まるのにつかれていますと言うのもどんなものかと思ふことがあります。朝なら「おはようございます」でいいのではと。午後からの会議だと「おつかれさまです」もそんなに違和感はなく、かえって「こんにちは」はどこか照れくさくも感じます。そんな中で、いい声掛けだと思うのが「ご安全に」です。建設業や鉄鋼・電力関係の現場で無事安全を祈って始まったあいさつと聞いています。そういった会社では、現場に限らず事務所や本社のミーティングでも「ご安全に」と一声かかると場の雰囲気さがと締まって、心地よい緊張がただよう感じを私は好きです。

パートナー・三宅敬司

【4】少年硬式野球チームのコーチと目標管理(87)

【 上には上が 】

リトルリーグ出身でもある大谷翔平選手のロサンゼルス ドジャースへの移籍が正式に発表されました。10年、1000億円を超える大型契約には本当に驚かされます。大谷選手が目標管理というシステムを意識してきたのかどうかは不明だが、彼自身の成功に目標管理というシステムが大きく寄与してきたことは紛れもない事実。目標管理には無限の可能性を感じます（少々大げさ(笑)）。

今回話題にもなっておりますが、幼なじみが明かした大谷翔平選手は高校時代、ドジャースから声をかけてもらったことをきっかけにメジャーリーグへ行くことを決め、高校3年生の時に2020年「ドジャースでワールドシリーズ優勝！」と宣言している。4年遅れではあるが、来年その目標が手に届くところに来ているといっても過言ではない。

そんな大谷翔平選手は中学1年生の夏、リトルリーグの全国大会に出場している。全国大会の一回戦は我がリーグのライバルでもある隣町の伝統あるチーム。結果は0-2で大谷翔平選手のリーグは一回戦で敗退している。当然投げているのは大谷翔平選手で、今と同じように二刀流で打者としても出場したが、結果は一回戦負けである。しかも一回戦で対戦して完封負けしてしまったリーグは2回戦で敗退。中学1年生の大谷翔平選手は結果を出すことはできなかった。きっと上には上が居ると感じたに違いない。そこで彼自身がどう考え、その先の野球人生に活かしたのか？ 直接聴いてみたいものだ・・・ただ、彼自身の日頃の発言を聴いていると、学ばされることばかり。

今週末、我がリーグの卒団式が行われる。その席で祝辞を述べることになるのだが、今回は卒団生と卒団生の保護者に向けて、大谷翔平選手のリトルリーグ時代について語ろうと思います。

我がリーグは全国大会にも出場し、好結果も出しました。現時点では大谷翔平選手よりも結果の上では勝っています。しかし・・・ここから先は・・・日々目標と向き合い、自ら掲げた目標に向かって真摯に取り組むことができるのかどうか・・・。

皆様、上には上が・・・それでも日々目標に向き合い、真摯に取り組んでいますか？

イケメンコーチ

【5】連載コラム

【褒められて育つ】

家内の体調が悪いため、家事を手伝うことが増えています。主たる作業は、洗い物、買い物の手伝い、料理です。洗い物については、洗い残しが多く、監督官の家内は「この汚れが落ちていない」と都度、ビシビシと指摘します（本人は、「たまにしか言っていない」と言います）。買い物は、車の運転と売り場で指示された特定のものを取ってきて、買い物かごに入れる作業。ついでに自分の好きなものを買ったり、食事メニューの提案ができるので楽しめます。料理は自分の工夫に加えて「〇〇の素」を使うので、そこそこのものができます。

過日、酢豚を作りました。当然、「酢豚の素」を使ってです。家内が完食し「お父さんの作ったものは美味しい」。何回か、同様のことが起こり、有頂天になって、料理にはまりかけています。娘からは、「主婦は人が作ってくれた料理は、どんな味でも美味しいと感じるのよ」と釘を刺されながらも、今日はチャンポンに挑戦してみました。

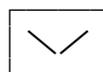
高齢者雇用の原則「爺は褒めて使え！」

中嶋

◆◇MBO(目標管理)実践支援センターの考え方

MBO(目標管理)実践支援センターはMBO(目標管理)を組織内で展開するためのノウハウを蓄積し、人事担当者に提供するためのセンターです。営利事業と非営利事業を組み合わせてこの機能を果たしていくつもりです。

<http://www.mbo-mcp.com/>



編集・発行／MBO(目標管理)実践支援センター
代表／中嶋哲夫 <http://www.mbo-mcp.com/>
事務局／(株)MC&P TEL:06-4706-3311

●最後までお読みいただきましてありがとうございます。
このメールマガジンは、センターの講師陣が出会った方々に感謝の気持ちを込めて送らせていただいています。
もし、ご関心のない場合には、ご面倒ですが解除の手続きをお願い申し上げます。

●このメルマガを読んでもらいたいお知り合いを是非ご紹介ください。

●投稿または配信停止を希望される場合は、
下記「お問い合わせフォーム」にて、「MBO投稿」または「MBOメルマガ配信停止希望」とご記入の上、送信願います。
<https://secure.mcp.co.jp/contact.html>

●このメールアドレスは配信専用となっております。
返信いただいても対応はいたしかねますのでご了承ください。
ご連絡は下記のアドレスまでお願いいたします。
mbodoor@mbo.mcp.co.jp

※本メールの無断転載・複製を禁じます。